



わくわく学習部会

令和4年6月23日発行 第2号



ようこそSENPAI!!



6月15日に谷川木工芸の谷川清さんが母校である白山小学校に帰って来られました。コロナウイルス感染症予防のため、3年生～5年生はオンラインで、6年生は体育館でお話をお聞きしました。谷川さんからは、小学生の頃のお話や、桶づくりに取り組むまでの経緯、桶づくりに関する興味深いお話を聞きました。桶づくりの実演も見せてくださり、子どもたちも実際に触れてみました。また、「伝統工芸は技術を守るだけでなく、変わっていくことだ。いろいろな人と協力しいろいろな考えを聞く。そんな仲間が大事である。大人になって役立つ勉強も大事だ。今後は、生活が豊かになるようなものを作りたい。」とこれからの取り組みについても話されました。



私は谷川さんの話を通して、谷川さんの何としても伝統を承ろうとしている気持ちがよく伝わりました。また、相手の意見と自分の意見は必ずちがうので、完全に理解はしなくていいから否定はしてはいけないと分かりました。そして、みんなの役に立てるようにするには、色々な工夫が大変だと思いました。そのために、仲間、もともと大事だと知りました。だから私は、これからは、仲間をもっと大勢にして、相手の意見をいつでも受けいねれるようにがんばりたいです。

私は、今の「ようこそ先ばい」の授業を通して学んだことは、努力は意味があるということです。私は、谷川さんが3ヶ月で技術を身につけたと聞いてびっくりしました。私は、あきらめてしまうくせがあります。なので私も谷川さんのように努力をして夢を目指したいです。

今日の授業のおかげに関するたくさんの方の話をありがとうございました。例えば、おけに使う木は、奈良県の吉野にあるスキの木ということが分かりました。他にも勉強がきらいでも大人になったら糸色女に女優に立つし、どうかいもしないという話を孝女えてもらって、自分に自信がわいたし、夢に一つ近づけたと思いました。これからもおけ作りをあきらめないで、おいんはってくださーい。

私は谷川さんのお話を聞いて、「だれかの生活が豊かになる道具を使いたい」と言っていてすごくいいと思いました。桶作りはあきらめずにつづけて、いろいろな物を作り今ではおけ1つ作るのに2日しかかからなくてびっくりしました。私も谷川さんみたいに決めたこと、これがやりたいということを見つけて、あきらめずにこりくんでいきたいです。

わくわく学習部会



ファンタジーさんの読み聞かせ

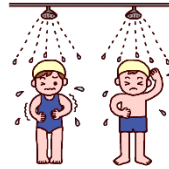


ファンタジーさんによる読み聞かせが始まりました。朝の読書タイムの読み聞かせで季節や学習に関連した本や紙芝居など子どもたちからのリクエストも重視して、図書を選定には細心を払って来ています。子どもたちは、わくわくしながら本や紙芝居の世界に聞き入っています。ファンタジーさんでは、今年度もサポーターさんを募集しています。





プール清掃



6月7日の午前中に消防団やおやじ・おふくろの会のみなさん6名がプール清掃をしてくださいました。少し肌寒い中、消防車のホースを使ってどんどん洗い流していき、デッキブラシで磨き上げるときれいな底面が見えてきました。その後5、6年生がデッキブラシなどを使って壁面や底面を磨き上げ、プールは見違えるようにきれいになりました。毎年、子どもたちより先に掃除して下さるので子どもたちも安全に最後の仕上げの掃除ができています。6月14日にプール開きがあり、今年の夏も子どもたちが元気に水泳学習に取り組んでいます。



わくわく学習部会

★三木町の偉人から学ぼう!

6年生は、はくざんっ子学習「三木町の偉人から学ぼう」で、三木茂博士生家跡資料館の館長さんから、太古の木であるメタセコイアの化石を発見した三木町出身の三木茂博士について興味深いお話をお聞きし、メタセコイアについてのDVDも鑑賞しました。子どもたちは、三木町出身の三木茂博士の功績を詳しく知り、生き方を学ぶことができました。



佐々木さんの話を聞いて、すごいと思
たことは2つあります。1つ目は学校に
12km歩いて登校していたことです。自転車
を買ってもらったのをあきらめて、毎日歩いて登
校すると通り道に生えている植物をすべて
知っていたほどだったかと思いました。
2つ目は、戦争中にみとめられた木なの
で、平和の木という意味が深いということ。学
校争いの中でも、おたがいの国がみとめ合
うのがいいと思いました。
佐々木さんの資料からメタセコイアとヌ
ズギとセコイアのちがいが分かりました。三
木博士の業績をたくさんの人に伝えていこう
と取り組んでいる守る会の方のことよく分かりました。

佐々木さんの話を聞いて、すごいと思
たことは2つあります。1つ目は学校に
12km歩いて登校していたことです。自転車
を買ってもらったのをあきらめて、毎日歩いて登
校すると通り道に生えている植物をすべて
知っていたほどだったかと思いました。
2つ目は、戦争中にみとめられた木なの
で、平和の木という意味が深いということ。学
校争いの中でも、おたがいの国がみとめ合
うのがいいと思いました。
佐々木さんの資料からメタセコイアとヌ
ズギとセコイアのちがいが分かりました。三
木博士の業績をたくさんの人に伝えていこう
と取り組んでいる守る会の方のことよく分かりました。

はくは、佐々木先生からメタセコイアなど
の植物の話を三木博士のことと教
えられました。特にヌズギとセコイアは
いさ少しずれていて互生メタセコイアは
葉が向かい合っていていて、メタセ
コイアは、水が
好きだから水のあるところでは木こく
と水が少なくてところではあまり育ま
ないこと
がわかり、三木博士は遠くの学校まで歩
いてその途中で植物を糸糸に描いた
り又集めたりしていたことが分かり
ました。
はくは、佐々木先生がお話してくださる前
までは何となく三木博士はすごい人だ
と思っただけで佐々木先生のお話を聞いて
びっくりした
り分かったことばかりです。

この前は三木茂博士について
メタセコイアについてのお話をしてく
ださり、ありがとうございます。
佐々木さんのお話を聞いて、三木
茂博士について、いろいろなことが
よく分かりました。特に、先生を4
年でせめたことが意外だと思いました。
そして、メタセコイアは30年で35m
ものびることが、とてもすごいと思
いました。メタセコイアはとても大
きくなる木だと思いました。今も
メタセコイアを大切に育てていると
ころがたくさんあると知りまし
た。わたしも大切にしていきたいです。

すくすく健康部会

麦の収穫

6月16日に昨年、4年生が麦まきをした麦の麦刈りが三木町観光協会の方とおやじ・おふくろの会の人たちによって行われました。今年は、昨年より多く300キロ採れました。収穫された貴重な小麦（農林26号）は、これからいろいろな過程を経て商品化される予定です。子どもたちは、貴重な品種である麦づくりを次の学年にも繋げて、三木町を元気にしたいと願っています。

